

# 機体更新

島根県防災航空隊は、東西に長く離島を有する地理的条件や、高齢化及び過疎化が進む社会的条件等を踏まえ、消防・防災活動の充実強化を図る目的で、機動力のあるヘリを導入し、県民の負託にこたえるべく平成6年4月1日運航を開始した。

当航空隊は、県東部に位置する出雲空港内に基地を構え、防災航空管理所长（県職員）をはじめ隊長以下隊員10名（県下9消防本部から派遣）、パイロット、整備士及び運航管理士の計7名（民間委託：セントラルヘリコプタシステム）が任務にあっている。また、機体は川崎式BK117B-2型、愛称は島根県の鳥「白鳥」と同じく「はくちょう」で、一般公募により決定した。

平成25年1月17日平成6年から使用していた機体川崎式BK117B-2型は任期を満了。

平成25年2月25日2代目「はくちょう」川崎式BK117C-2型の運航を開始した。

はくちょう（旧機体）



はくちょう（新機体）



旧機体と新機体の比較

|                | はくちょう（旧機体）    | はくちょう（新機体）    |
|----------------|---------------|---------------|
| 型式             | 川崎式BK117 B-2型 | 川崎式BK117 C-2型 |
| 全長             | 13.00 m       | 13.03 m       |
| 全幅<br>(ローター直径) | 11.00 m       | 11.00 m       |
| 胴体幅            | 1.60 m        | 1.73 m        |
| 全高             | 3.85 m        | 3.96 m        |
| 最大座席数          | 11席           | 11席           |
| 搭載重量           | 1,189 kg      | 1,784 kg      |
| 吊り下げ重量         | 1,200 kg      | 1,500 kg      |
| 最大離陸重量         | 3,350 kg      | 3,585 kg      |
| 最大速度           | 277km/h       | 268km/h       |
| 航続距離           | 550 km        | 685 km        |